



炭 鉍 資 料

共同石炭鉍業株式会社

日吉炭鉍



目 次

1	炭鉱の位置交通並に輸送関係	1
2	生産数量、労働者、能率、品位	3
3	交付金申請にいたつた経緯	5
4	鉱区および商坑の沿革	10
5	隣接鉱区	12
6	地形、地質、炭層	14
7	炭層の状況（計算対象炭層のみ）	16
8	炭質	16
9	商坑	21
10	現移行坑	22
11	採炭	23
12	坑内外運搬	27
13	坑内ガス	28
14	坑内湧水	28
15	原単位	26

1. 日吉炭鉱の位置、交通、並に輸送関係

交通
鉄道 油断駅 釜生駅 徒歩 5分 (500m)
釜生駅 徒歩 約 20分 (2,000m)
上山田駅 大塚駅 徒歩 約 25分 (2,500m)

バス

福岡心七ヶ → 飯塚バスステーション → 釜生 徒歩 約 20分
釜生 徒歩 約 25分



志保川……支線輸送路

企業概況説明

日吉炭鉱 福岡県採掘権登録第1273号
(面積 20,856㎡)
経営者 北九州市 本町1丁目9番10号
共同石炭鉱業株式会社
代表取締役 入交大兵衛
福岡県嘉穂郡飯塚市大塚田44番地
経営代理人 吉川茂明

企業の沿革

- 明治28年 共同組合にて福岡県田川郡川崎所に島田炭鉱を創設
- 大正8年3月 福岡県飯塚市入屋町大塚田44番地に共同石炭株式会社と設立 資本金 150万円創設
- 大正11年9月 福岡県嘉穂郡飯塚市(現飯塚市)に日吉炭鉱(株)を設立 資本金 300万円に増資
- 昭和15年9月 本社と飯塚市本町2丁目に移転 名称を共同石炭株式会社と変更 資本金 1,500万円に増資
- 23年9月 資本金 2,000万円に増資
- 25年4月 本社と東京都中央区銀座7丁目5番地に移転
- 36年5月 本社と若松市本町2丁目204番地に移転
- 36年9月 資本金 6,000万円に増資
- 36年10月 資本金 20,000万円に増資
- 36年10月 飯塚部門移転、入交商事株式会社と設立
- 37年1月 入交商事株式会社設立により資本金 40,000万円に増資
- 37年4月 資本金 80,000万円に増資
- 40年7月 近畿炭鉱株式会社と吸収合併、宇和島日吉炭業所を継承開始
- 44年11月 福岡県田川郡川崎所、島田炭鉱(株)を(株)に
- 42年6月 本社と北九州市本町1丁目9番10号
(住所表示変更により)現在に至る

鉉区位置图

縮尺 $\frac{1}{50,000}$

各坑日別 土炭開始年次及土炭終了年次

坑口別	土炭開始年次	土炭終了年次
新田一坑	大正 12 年	大正 15 年
田二坑	大正 12 年	大正 15 年
田五坑	大正 13 年	大正 15 年
田六坑	昭和 17 年 8 月	昭和 23 年 4 月
田七坑	昭和 20 年 2 月	昭和 24 年 4 月
田八坑	昭和 22 年 1 月	昭和 28 年 5 月
一坑	大正 14 年 9 月	昭和 23 年 4 月
二坑	大正 14 年 8 月	昭和 24 年 4 月
三坑	昭和 16 年 1 月	昭和 24 年 3 月
田八坑	昭和 20 年 2 月	昭和 24 年 4 月
田六坑	昭和 26 年 12 月	昭和 29 年 1 月
田七坑	昭和 26 年 4 月	昭和 29 年 4 月
田八坑	昭和 26 年 4 月	昭和 29 年 5 月

II 43年4月分 出炭実績

坑口別	出炭・実績
竹藪坑	4830 t
杉谷坑	7012 t
二坑	1930 t
一坑	497 t
海八坑	118 t
露天	348 t
計	14667 t

III 42年度 杉谷・二坑 出炭実績

海八郎口域	二郎口域	計
75,716 t	3,150 t	78,866 t

生产数量 旁粉条 能率品位

日期	生			生			数量			合计	旁粉条	能率	品位
	旁粉条	旧三坑	旧三坑	二坑	一坑	三坑	竹粉坑	海八坑	合计				
大正 12	7568	12566							22154				
13	16336	10328	4855						31519				
14	22345	5555	4255						32155				
15	5922		27216	220	108				36936				
昭和 2				848	27456				28304				
3				22266	4466				26732				
4				18321	11322				29643				
5				19235	11648				30883				
6				24042	2890				26932				
7				14431	20464				34895				
8				15420	28772				44192				
9				16634	20861				37495				
10				10831	20424				31255				
11				27852	11322				39174				
12				16455	27102				43557				
13				10445	16313				26758				
14				10461	22561				33022				
15				14420	54662	72			69154				
16				54653	14482	102			69237				
17				44453	41322	416	170		86251				
18				14422	41320	2312	1042		58076				
19				11416	14388	1102	52312	46	77072				
20				2238	4777	4462	24368	250	31791				
21						1173	12448	1171	14792				
22						1173	14572	1361	17106				
23						1173	17572	234	19980				
24						14388	44615	322	59325				
25						2672	16431	24577	2042				
小計	4141	70422	16412	132198	282428	7173	222384	24553	146351				

2 生产数量 可称者 能年产量

7月E1602今T2224

年	月	日	时	分	秒	主 客										客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主	客 主</
---	---	---	---	---	---	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

宝源原值损益表

	40年度		41年度		42年度	
出 入	152,067		166,149		180,093	
山 消	583		913		1,366	
宝源可能数量	157,136		165,236		179,717	
	金 额 正负		金 额 正负		金 额 正负	
均 商 费	113,422/132		123,257/207		122,479/213	
房 租 费	311,797/365		307,625/311		325,344/369	
经 费	77,466/91		97,322/128		116,225/133	
宝源可能数量	19,712/231		24,923/207		22,501/216	
控 制 费	13,784/284		11,707/128		11,216/129	
宝源可能数量	623,503/590		581,162/595		635,117/622	
本 社 费	21,610/658		27,335/664		27,316/668	
支 取 利 子	22,629/557		21,259/591		12,403/597	
宝源可能数量	522,762/568		520,768/570		525,423/567	
宝源可能数量	2,159/112		2,131/170		2,349/270	
宝源可能数量	520,633/733		523,476/710		523,369/717	
宝源可能数量	562,723/661		570,623/658		663,104/808	
宝源可能数量	2,776/172		2,772/172		2,764/172	

昭和41年度 炭価推移表

品名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	昭和41年 1月	2月	3月
炭中塊	有煙	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650	4,650
炭粉	"	1,420	1,425	1,429	1,435	1,439	1,445	1,451	1,456	1,463	1,469	1,473	1,478
二重炭粉	"	600	600	600	600	600	671	800	600	600	600	600	600
七重炭粉	"	300	300	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—
並粉	"	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
田二粉	"	—	—	—	—	—	—	—	1,227	2,455	2,275	—	—
田六粉	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,714	2,761
八重炭中塊	有煙	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116
八重炭小塊	"	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117	4,117
八重小豆	"	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075
八重特粉	"	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075	4,075
竹炭切	"	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400

昭和八年 炭価推移表

品名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年1月	2月	3月
鏡中煙	有煙	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	3961	3986
洗	"	3627	3635	3515	3504	3576	3507	3600	3622	3577	3590	3600	3574
二芳洗粉	"	600	600	600	580	600	600	600	600	600	600	600	600
並	"	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300	1300
白六粉	"	2685	2735	2620	2666	2654	2687	2617	2755	2585	2666	2576	2596
生粉	"	—	—	2150	2150	2150	2150	2150	2150	2150	2150	2150	2150
八幡白煙	燐石	4336	4336	4336	4336	4336	4336	4336	4336	4336	4336	4336	4336
八幡白煙	"	4157	4157	4157	4157	4157	4157	4157	4157	4157	4157	4157	4157
八八小豆	"	4075	4075	4075	4075	4075	4075	4075	4075	4075	4075	4075	4075
八八特粉	"	4150	4150	4150	4150	4150	4150	4150	4150	4150	4150	4150	4150
竹瀝切	"	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400
無煙煙	無煙	—	—	—	—	6000	—	—	6000	—	6100	6000	6000

△ 鉱山及開坑の沿革

大正 11 年 8 月

吉河鉱業株式會社 下山田炭鉱 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に變更す
大正 11 年 12 月 10 日 4 号決定

大正 12 年 6 月
二坑開坑 (昭和 2 年一時休止、36 年再開)

大正 15 年 6 月
一坑開坑 (昭和 20 年一時休止、32 年再開)

昭和 2 年 12 月

三井鉱山株式會社 山野炭鉱 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し
該礦權者共同石炭株式會社

昭和 11 年 12 月

上記福持登才 100 号と福持登才 100 号とを合併
し共同福持登才 100 号とに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 12 年 1 月

吉河鉱業株式會社 下山田炭鉱 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 15 年 2 月

日鉄鉱業株式會社 福持登才 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 15 年 2 月

三坑開坑 (昭和 20 年 4 月休止)

昭和 17 年 2 月

竹藪坑開坑

昭和 18 年 6 月

本名に共同石炭株式會社に合併

昭和 19 年 4 月

三井鉱山株式會社 山野炭鉱 所有の
福持登才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 19 年 2 月

海軍八咫鏡開坑

昭和 19 年 12 月

久保鉱業株式會社 久保炭鉱 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 20 年 2 月

昭和 19 年 11 月 吉河同業株式會社 下山田炭鉱
へ譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 20 年 2 月

三井鉱山株式會社 山野炭鉱 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 20 年 2 月

日鉄鉱業株式會社 福持登才 所有の福持登
才 100 号鉱区の一部を賣却し該礦を又吉河同
業株式會社に譲渡せしむるに決定し該礦權者
は共同石炭株式會社に決定し該礦權者

昭和 25年 10月

三井鉱山株式会社山野炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一丁各戸群の掘進増進

昭和 26年 2月

大倉露天坑開坑

昭和 26年 3月

五反田露天坑開坑

昭和 26年 10月

大倉坑開坑

昭和 28年 1月

杉倉即坑開坑

昭和 28年 3月

日鉄鉱業株式会社福華炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一丁各戸群の掘進増進(同前記)

昭和 28年 9月

三井鉱山株式会社山野炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一丁各戸群の掘進増進

昭和 30年 1月

杉倉(=大坑)開坑

昭和 30年 3月

三井鉱山株式会社山野炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一丁各戸群の掘進増進

昭和 30年 8月

日鉄鉱業株式会社福華炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一福同業組鉱区登録オノタツ号
(面積 2,664㎡) 設定炭区は本戸群上部炭区(杉倉
上炭区)の計

昭和 30年 12月

野添露天坑開坑

昭和 31年 7月

五反田露天坑開坑

昭和 32年 11月

三井鉱山株式会社山野炭鉱所有の福操
登オノタツ号鉱区一福同業組鉱区登録オ
ノタツ号設定(面積 4,614㎡) 設定炭区は本戸
群(上部炭区(杉倉上炭区=大坑)下部炭区)

昭和 33年 12月

日鉄鉱業株式会社福華炭鉱所有の
福操登オノタツ号鉱区一設定オノ福操登オノ
タツ号福操登オノタツ号の組鉱区掘進増進
の掘進増進に付増資設定炭区 一丁各戸群
本戸群(上部炭区, 下部炭区)面積 4,614㎡

昭和 34年 11月

三井鉱山株式会社山野炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一福同業組鉱区登録オノ
タツ号設定(面積 4,314㎡) 推定炭区は同一区域設
定炭区は本戸群上部炭区の一部杉倉上炭区のみ

昭和 35年 1月

三井鉱山株式会社山野炭鉱所有の福操登
オノタツ号鉱区一福同業組鉱区登録オノ
タツ号設定(面積 3,444㎡) 設定炭区は本戸群の
下部炭区

昭和 35年 12月

五反田露天坑開坑

昭和 40年 5月

三井鉱山株式会社山野炭鉱オノタツ号炭区社
録炭区所有の福操登オノタツ号鉱区一福同業組
組鉱区登録オノタツ号設定(面積 2,664㎡) 設
定炭区は本戸群全戸(上部炭区, 下部炭区)

昭和 42年 7月

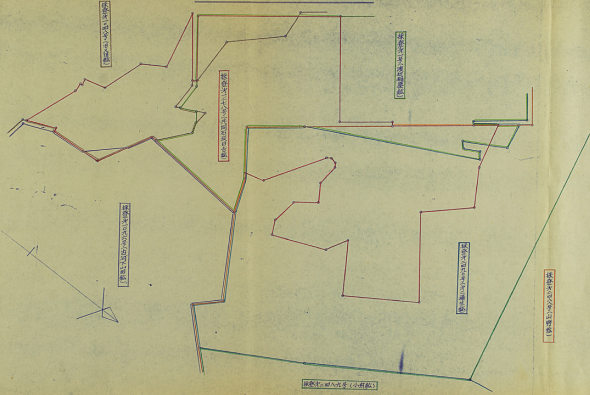
上記祖産を所有し増加面積 447㎡ 設定
役所は本局群・下部炭局

昭和 40年 7月

株式会社・赤生鉱業所有一帯に炭鉱所有の
祖産を 5000号 鉱区に 採出権祖産権登録
された設定 (面積 2267㎡) 設定役所は本局群の
上部炭局

昭和 40年 7月

上述 A地区昭和 40年 7月以降に株式会社・赤生
炭坑 (旧 山形炭坑 山形炭坑) 鉱区内
に採出権設定 (竹石炭坑) は昭和 40年 7月以降
祖産権設定 (竹石炭坑) に付 鉱区は同一元化の一
定 採出権設定 (竹石炭坑) 鉱区は同一元化の一
定 採出権設定 (竹石炭坑) 鉱区は同一元化の一
定 採出権設定 (竹石炭坑) 鉱区は同一元化の一
切皆変更を不可

5. 隣接鉦区 縮尺 $\frac{1}{10,000}$ 

6 地信 地寶 炭房

当 鑑之は筑豊炭田の都の輪園案を提那 権直
其 秋、山田重九一市二町に流り果て山田川、田に
為 麻州、二の町則に焚かれ大なる海抜、
作 其 州に在り。

陽路通中東北。二村山野。鑛業所。東南。占頭
下山田鑛業所。西南。元久恒。塘生。炭鑛。西北。以
元。炭。以。箱。鑛。炭。鑛。所。

交通因欲阻擊敵衝鋒隊以方峻杜生縣
壽生縣以東南方的 20° 這係隊隊以方峻杜生縣
隊大係隊以北方的 20° 這係隊隊以方峻杜生縣
東南方的 20° 這係隊隊以方峻杜生縣

当 路走至北至栗炭田(前部)附近, 代表 + 煤质
60% 70% 山地丘陵地带, 地方 + 近前岩
质基岩, 以上部 + 白岩 = 配石 + 页岩, 砂岩
页岩, 煤质 + 页岩 + 煤质 + 页岩

紅西紅 第 2 人
中 早 新 紅

雲類は銀毛、~~竹谷、砂、砂、~~香尾部、内側部
 銀毛、内側部、~~砂、砂、~~

大隈、尾崎は露国に南部に露領、戦後500万大隈は
別は二重露国と一部の権利を露に大部分は隣国
との協定に画し、

[illegible]

大分県南西部の山間部。鎮である由緒古く住居は赤松
櫓付山に根柢をとり火成岩(安山岩)で土間八尺居に進入
して、二カ所寄る。土間八尺居は町並み、江田居は閑
静な町並みに変化する。町並みには、他方幾層の階建て
部がある。町並みには3軒と300坪大部分は有線電波が

~~12345 (A12)~~

2. 虎毛の状況 (計算対象炭屑のみ) $\rightarrow$ 全例 10 例 $\times 50\%$

[illegible]

2 炭質

炭 石 別 工 業 分 析

炭 石 名	炭 種	炭 石 含 量		炭 石 含 量	炭 石 含 量	炭 石 含 量
		Cal	灰 分 %	揮 發 分 %	山 灰 %	炭 灰 %
竹炭八尺上片上石	有 煙	6410	18.6	34.8	1.74	0.24
竹炭八尺上片下石	。	6410	18.6	34.8	1.52	0.23
竹炭八尺本石	。	6700	14.7	36.2	2.02	1.00
型下五尺石	。	6500	23.2	32.7	0.33	0.25
形各上二尺石	。	6500	23.2	32.7	1.05	0.34
形各五尺下二尺石	。	6100	22.3	33.6	1.10	0.32
形各五尺本石	。	6600	16.0	35.8	1.05	0.39
同 三 尺 本 石	。	6200	21.3	30.7	1.30	0.80
同 三 尺 下 石	。	6200	21.3	30.7	0.35	0.25
編織五尺石	。	6200	21.0	30.2	2.20	0.26
下 三 尺 石	無 煙	6100	20.0	6.2	1.00	0.13
玉間八尺石	淨 石	6500	16.6	4.8	1.35	1.30
海草八尺本石	有 煙	6200	21.8	18.6	1.32	1.60
海草八尺下石	。	6200	21.8	27.0	0.40	0.40
無 石 石 (1)	。	6500	23.0	32.6	0.08	0.02
無 石 石 (2)	。	6500	23.0	32.6	2.60	1.70
大 煤 上 石	。	6500	23.0	32.6	0.30	0.40
炭 石 石	。	6500	23.0	32.6	1.30	1.30

稻 粳 別 生 産 数 量

稻 粳 別	昭 和 40 年 度				昭 和 41 年 度				昭 和 42 年 度				注 記 類 別
	播 種 数	生 産 比 率	保 証 百 位	生 産 数 量	播 種 数	生 産 比 率	保 証 百 位	生 産 数 量	播 種 数	生 産 比 率	保 証 百 位	生 産 数 量	
	千	%	公 担	公 担	千	%	公 担	公 担	千	%	公 担	公 担	
流 中 地	2657	4.7	6200	21.7	8474	5.1	6200	21.7	12121	6.7	6200	21.7	入 交 商 事 (13)
流 粉	47887	30.3	6700	15.1	49152	26.5	6700	15.1	64332	30.0	6700	15.1	入 交 商 事 (13)
二 次 流 粉	15459	7.0	4500	20.8	14126	6.5	4500	20.8	3704	4.0	4500	20.8	入 交 商 事 (13)
七 粉	274	0.2	5000	15.0	17	0.0	5000	15.0					
北 粉	1973	1.0	5700	29.0	1541	0.7	5700	29.0	1610	1.0	6700	29.0	
上 粉	62		6000	34.0									(14)
四 二 粉				2473	1.4	6000	34.0						要 用 及 販 賣 (14)
四 六 粉				2016	1.2	6000	35.0	3722	4.9	5000	15.0		
生 粉								11377	6.2	7000	11.7		入 交 商 事 (13)
白 粉 切	18		6000	34.0									(14)
八 次 流 粉	13248	8.1	6000	19.3	14173	8.5	6000	19.3	14095	5.2	6000	19.3	入 交 商 事 (14)
八 次 流 粉	2583	7.1	6000	19.3	14202	8.6	6000	19.3	14065	15.5	6000	19.3	
八 次 小 流	1901	1.2	6000	15.2	2670	1.6	6000	15.2	768	1.0	6000	15.2	
八 次 特 粉	5974	3.4	6000	15.2	60378	16.3	6000	15.2	24113	25.3	6000	15.2	
竹 瀝 切	2631	2.3	5000	32.5	2102	1.4	5000	32.5	1167	0.6	5000	32.5	
無 理 地									148	0.1	7000	11.7	
合 計	159069	100.0		166147	100.0			172193	100.0				

錫 棚 別 工 業 分 析 表

錫 棚 別	加 丁 -	灰 分	水 分	揮 發 分	固 定 炭 素
炭 中 棚	6200	21.7	2.0	20.0	46.3
炭 棚	6200	18.0	2.0	20.0	49.0
二 等 炭 棚	6500	18.0	2.0	20.0	48.0
三 等 炭 棚	6500	18.0	2.0	20.0	48.0
生 炭 棚	5700	20.0	1.0	20.0	48.0
上 等 炭 棚	6500	18.0	2.0	20.0	48.0
四 等 炭 棚	6500	18.0	2.0	20.0	48.0
生 炭 棚	7500	18.0	2.0	20.0	48.0
白 煙 煤	6500	22.0	2.0	17.0	57.0
八 尺 煙 煤	6500	21.0	1.0	4.0	72.0
八 尺 煙 煤	6500	21.0	1.0	4.0	72.0
八 尺 小 豆	6500	18.0	1.0	5.0	72.0
八 尺 粉 煤	6500	18.0	1.0	6.0	72.0
竹 炭 棚	5500	12.0	2.0	1.0	80.0
無 煙 煤	7500	12.0	2.0	7.0	77.0

泥粉率及精炭考得り

	有 煙		火 石		計		備 考
	土炭濃酢	土炭	燒酎	土炭	燒酎	牛酒	
燒	2687	10°	2571	30°	33398	21°	
粉	65225	28°	57066	29°	124691	30°	
計	29912	10°	85157	100°	158089	100°	70°
燒	8672	12°	28383	30°	36957	22°	
粉	64022	28°	65290	29°	129212	27°	
計	22476	10°	93673	100°	166149	100°	71°
燒	1660	17°	32272	40°	58858	22°	
粉	28577	23°	27128	29°	127205	22°	
計	37137	10°	30926	100°	186063	100°	22°

運 送 方 式

取 扱 別 分	送 炭 機		水 送 機	
	機 種	台 数 能力%	機 種	台 数 能力%
竹炭送炭機	ピッキングハンド	1 20	ベック	1 20
			TRC水送機	2 3
海へ炭炭機	ベッキングハンド	1 20		

2 洞坑

石炭坑名	坑口名	坑口别名	坑坑年月日	洞坑年月日	坑行炭石	抽 量
二 坑	本即坑 本即坑 本即坑 本即坑 本即坑	斜坑	大正12年5月4日	本下	編號五坑, 土間八尺 海軍八尺本局	昭和21年 一時中工 昭和22年 再出
一 坑	本即坑 本即坑 本即坑 本即坑 本即坑	斜坑	大正14年6月9日	本上	杉倉上二尺, 杉倉上三尺 海軍二尺本局	昭和24年 一時中工 昭和25年 再出
三 坑	本即坑 本即坑 本即坑 本即坑 本即坑	斜坑	昭和16年2月27日	昭和22年4月22日	竹藪八尺上后下 竹藪八尺本局	
77 號坑	本即坑 本即坑 本即坑 本即坑 本即坑	斜坑	昭和17年2月26日	本上	竹藪八尺上后下, 杉倉三尺 竹藪八尺本局, 杉倉三尺 杉倉上二尺	新即坑, 昭和21年04 20 集路炭用炭
海軍八尺坑	本即坑 本即坑 本即坑 本即坑 本即坑	斜坑	昭和17年2月26日	本下	編號五坑, 土間八尺 海軍八尺本局	一即坑, 昭和22年04 120 集路炭用炭
大倉路炭坑	大倉路炭坑	炭坑	昭和26年2月18日		土間八尺 海軍八尺本局	37.10
半分田炭坑	半分田炭坑	炭坑	昭和26年2月18日		土間八尺 海軍八尺本局	40.10
大倉坑	本即坑 杉倉即坑 杉倉即坑 杉倉即坑 杉倉即坑	斜坑	昭和26年04月08日		編號五坑, 土間八尺 海軍八尺本局	
杉倉二尺坑	本即坑 本即坑 本即坑 本即坑 本即坑	斜坑	昭和28年1月14日	本下	杉倉上二尺 土間八尺 海軍八尺本局	
野澤路炭坑	野澤路炭坑	炭坑	昭和28年2月27日		編號五坑, 下二尺 土間八尺, 海軍八尺本局	46.5.15
才田路炭坑	才田路炭坑	炭坑	昭和28年2月27日		編號五坑, 下二尺 土間八尺, 海軍八尺本局	47.4.12
在田路炭坑	在田路炭坑	炭坑	昭和28年2月27日		竹藪八尺上后下 竹藪八尺本局	48.7.15

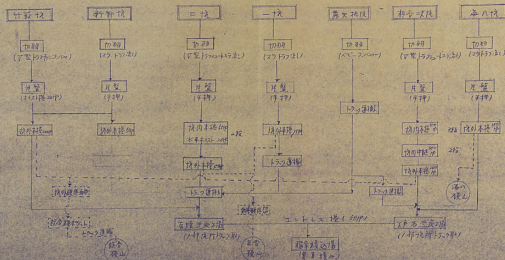
10 現移竹坑

項目名	坑口至最遠樁 及溝口之距離	幾何 方位何種斜	坑口樁間	岸別段數深度	樁在二樣訂深度
竹坑坑	1180 ^m	N 11° 46" E 17° 20"	+64 ^m	-125 ^m	-289 ^m
新築 = 大坑	1866 ^m	N 11° 46" E 17° 20"	+35 ^m	-433 ^m	-498 ^m
二 坑	1818 ^m	N 11° 46" E 17° 20"	+50 ^m	-140 ^m	-124 ^m
一 坑	189 ^m	N 11° 46" E 17° 20"	+54 ^m	-119 ^m	+30 ^m
海軍八尺坑	124 ^m	N 11° 46" E 17° 20"	+58 ^m	-119 ^m	-6 ^m

11 採炭

項目別	石炭法	TH 炭 坑	石炭一炭坑	二 坑	一 坑
採行方法	石炭法下坑	石炭上坑	土間八尺石	土間八尺石	土間二尺石
炭 大 (m)	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0
炭 大 (m)	0.5	0.5	1.5	1.5	0.50
炭石傾斜	20	20	20	20	20
採炭様式	土壁式	土壁式	土壁式	土壁式	土壁式
切羽面長 (m)	50	4-6	4-6	4-6	4-6
切羽傾斜	16	16	20	16	16
支 保	鉄柱・心	木 梁	木 梁	木 梁	木 梁
松 石	5%	5%	30%以上	30%以上	5%
先盤肉隔	50	50	35	35	35
炭切方法	炭 破	炭 破	炭 破	炭 破	炭 破
運 方 法	石 1	石 1	石 1	石 1	石 1
上下盤状況	上下盤1層石	上下盤1層石	上下盤1層石	上下盤1層石	上下盤1層石
TH 炭 破	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ
TH 炭 破	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ
TH 炭 破	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ	スラフ・スラフ

心 院内外軍機						
乙分	竹筵校	新部校	新部校	二校	一校	海八校
初期	マダラツキ コンペイ-24P	スラッ 流し機	マダラツキ スラ流し機	マダラツキ スラ流し機	スラッ 流し機	スラッ 流し機
片盤	ホスト機 20P	7P	7P	7P	7P	7P
本隊	20P 単機整備機	50P 単機整備機	200P, 200P, 200P = 3台 単機整備機	200P, 200P = 2台 単機整備機	250P 単機整備機	200P 単機整備機



12 坑内ガス

坑口名	型式	容量(馬力)	風 量 m^3/min		風 圧 (mm)		坑内ガス中 CdH
			公稱	現狀	公稱	現狀	
竹筧坑	≡D-2	100HP	1500	1215	120	82	0
杉倉=大坑	MFA 100-P	200HP	2500	2080	240	216	0
		75HP	1200	1050	180	162	
二坑	≡D-2 重坑	30HP	850	750	50	28	0
一坑	扇形	5HP	200	210	50		0
海八坑	≡D-2型	30HP	850				

14 坑内湧水

坑口名	湧水量 m^3/min	風 量 m^3/min		風 圧 (mm)	坑内ガス中 CdH
		公稱	現狀		
竹筧坑	平時・雨期 $0.5 \sim 0.6$	2-2	2	120	82
杉倉=大坑	平時・雨期 $0.5 \sim 1.2$	2-2	2	240	216
二坑	平時・雨期 $0.2 \sim 0.3$	2-2	2	50	28
一坑	平時・雨期				
海八坑	平時・雨期				

15 原单位表

年度别	木材類(木)			金属材料													
	枕木	其他木材	計	軟鉄	硬鉄	鋼管	鋼材	鋼索	鋼板	鋼索	鋼管	電線	鋼絲	鋼絲	鋼絲	鋼絲	鋼絲
40年度	0.033	0.001	0.035	0.283	0.073	0.285	0.001	0.192	0.119	0.652	2.808	0.002	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000
41年度	0.008	0.001	0.007	0.002	0.181	0.063	0.052	0.113	0.152	0.732	2.000	0.006	0.301	0.003	0.000	0.000	0.000
42年度	0.006	0.002	0.008	0	0.030	0.010	0.007	0.022	0.131	0.608	2.300	0.006	0.041	0.000	0.000	0.000	0.000

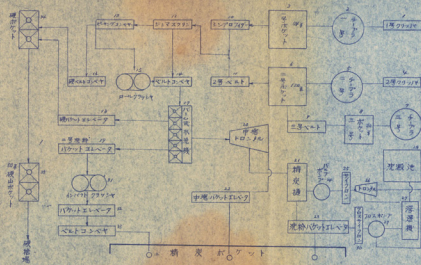
主要設備概算表

項目外別	内			外			合計
	材料	人工	機械	材料	人工	機械	
是 概 (卷揚機)	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10
排 水 (1000)	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10
通 風 (備用)	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10
降 炭 用 (機 械)	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10
送 炭 (送水機)	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10
左 炭 吊 桶	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10
炭 車	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	材料 1000 (1000) 10	1000 (1000) 10

選炭系統圖

總代理 共興五金工業株式會社
代表取締役 入交 太兵衛
總代理人

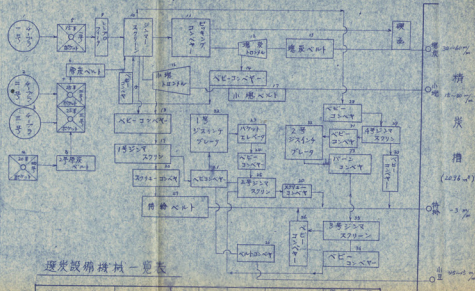
竹藪選炭機系統圖面



竹藪選炭機設備一覽表

機 種 名	工 式	数 値	自 重	速 度	引 法	片 力	制 動 距
1. 2 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
2. 3 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
3. 4 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
4. 5 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
5. 6 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
6. 7 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
7. 8 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
8. 9 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
9. 10 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
10. 11 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
11. 12 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
12. 13 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
13. 14 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
14. 15 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15. 16 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
16. 17 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
17. 18 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
18. 19 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
19. 20 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
20. 21 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
21. 22 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
22. 23 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
23. 24 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
24. 25 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
25. 26 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
26. 27 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
27. 28 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
28. 29 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
29. 30 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
30. 31 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
31. 32 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
32. 33 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
33. 34 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
34. 35 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
35. 36 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
36. 37 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
37. 38 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
38. 39 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
39. 40 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
40. 41 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
41. 42 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
42. 43 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
43. 44 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
44. 45 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
45. 46 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
46. 47 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
47. 48 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
48. 49 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
49. 50 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
50. 51 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
51. 52 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
52. 53 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
53. 54 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
54. 55 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
55. 56 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
56. 57 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
57. 58 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
58. 59 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
59. 60 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
60. 61 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
61. 62 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
62. 63 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
63. 64 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
64. 65 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
65. 66 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
66. 67 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
67. 68 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
68. 69 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
69. 70 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
70. 71 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
71. 72 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
72. 73 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
73. 74 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
74. 75 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
75. 76 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
76. 77 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
77. 78 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
78. 79 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
79. 80 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
80. 81 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
81. 82 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
82. 83 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
83. 84 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
84. 85 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
85. 86 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
86. 87 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
87. 88 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
88. 89 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
89. 90 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
90. 91 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
91. 92 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
92. 93 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
93. 94 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
94. 95 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
95. 96 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
96. 97 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
97. 98 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
98. 99 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
99. 100 号 機	電 機	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0

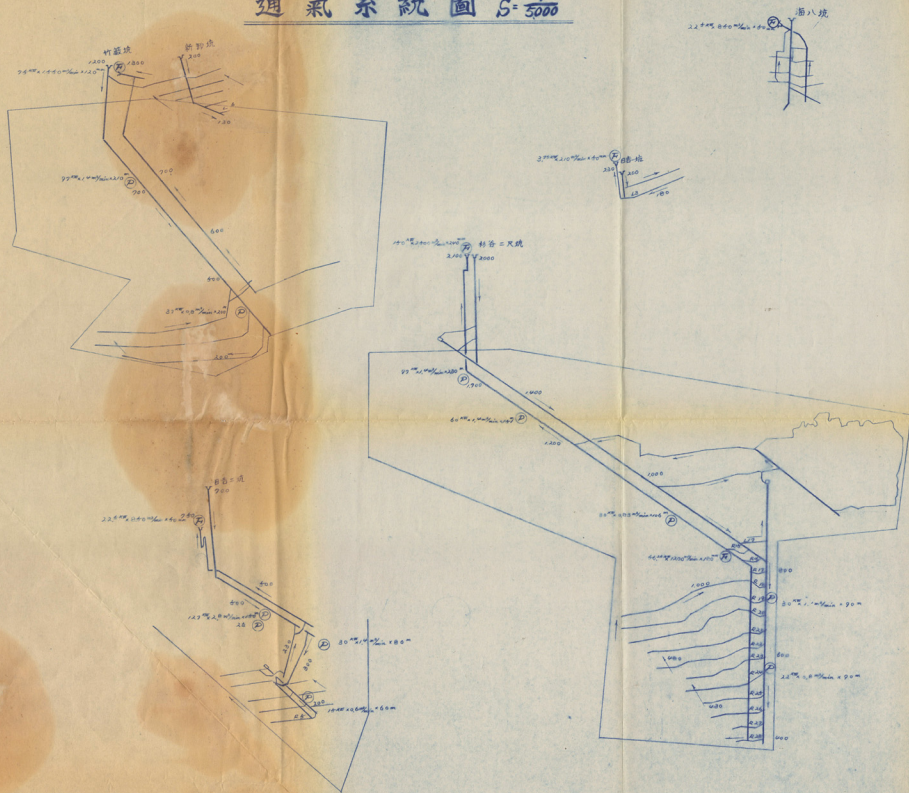
海八選炭機系統圖面



選炭設備機械一覽表

機 械 名	型 式	数 量	計 画 年 度	可 成	原 動 機 馬 力 回 轉 速
1. 200-75	—	—	1970 年	2700 750/1500	—
2. 200-75	—	—	—	—	—
3. 200-75	—	—	—	—	—
4. 200-75	—	—	—	—	—
5. 200-75	—	—	—	—	—
6. 200-75	—	—	—	—	—
7. 200-75	—	—	—	—	—
8. 200-75	—	—	—	—	—
9. 200-75	—	—	—	—	—
10. 200-75	—	—	—	—	—
11. 200-75	—	—	—	—	—
12. 200-75	—	—	—	—	—
13. 200-75	—	—	—	—	—
14. 200-75	—	—	—	—	—
15. 200-75	—	—	—	—	—
16. 200-75	—	—	—	—	—
17. 200-75	—	—	—	—	—
18. 200-75	—	—	—	—	—
19. 200-75	—	—	—	—	—
20. 200-75	—	—	—	—	—
21. 200-75	—	—	—	—	—
22. 200-75	—	—	—	—	—
23. 200-75	—	—	—	—	—
24. 200-75	—	—	—	—	—
25. 200-75	—	—	—	—	—
26. 200-75	—	—	—	—	—
27. 200-75	—	—	—	—	—
28. 200-75	—	—	—	—	—
29. 200-75	—	—	—	—	—
30. 200-75	—	—	—	—	—
31. 200-75	—	—	—	—	—
32. 200-75	—	—	—	—	—
33. 200-75	—	—	—	—	—
34. 200-75	—	—	—	—	—
35. 200-75	—	—	—	—	—
36. 200-75	—	—	—	—	—
37. 200-75	—	—	—	—	—
38. 200-75	—	—	—	—	—
39. 200-75	—	—	—	—	—
40. 200-75	—	—	—	—	—
41. 200-75	—	—	—	—	—
42. 200-75	—	—	—	—	—
43. 200-75	—	—	—	—	—
44. 200-75	—	—	—	—	—
45. 200-75	—	—	—	—	—
46. 200-75	—	—	—	—	—
47. 200-75	—	—	—	—	—
48. 200-75	—	—	—	—	—
49. 200-75	—	—	—	—	—
50. 200-75	—	—	—	—	—
51. 200-75	—	—	—	—	—
52. 200-75	—	—	—	—	—
53. 200-75	—	—	—	—	—
54. 200-75	—	—	—	—	—
55. 200-75	—	—	—	—	—
56. 200-75	—	—	—	—	—
57. 200-75	—	—	—	—	—
58. 200-75	—	—	—	—	—
59. 200-75	—	—	—	—	—
60. 200-75	—	—	—	—	—
61. 200-75	—	—	—	—	—
62. 200-75	—	—	—	—	—
63. 200-75	—	—	—	—	—
64. 200-75	—	—	—	—	—
65. 200-75	—	—	—	—	—
66. 200-75	—	—	—	—	—
67. 200-75	—	—	—	—	—
68. 200-75	—	—	—	—	—
69. 200-75	—	—	—	—	—
70. 200-75	—	—	—	—	—
71. 200-75	—	—	—	—	—
72. 200-75	—	—	—	—	—
73. 200-75	—	—	—	—	—
74. 200-75	—	—	—	—	—
75. 200-75	—	—	—	—	—
76. 200-75	—	—	—	—	—
77. 200-75	—	—	—	—	—
78. 200-75	—	—	—	—	—
79. 200-75	—	—	—	—	—
80. 200-75	—	—	—	—	—
81. 200-75	—	—	—	—	—
82. 200-75	—	—	—	—	—
83. 200-75	—	—	—	—	—
84. 200-75	—	—	—	—	—
85. 200-75	—	—	—	—	—
86. 200-75	—	—	—	—	—
87. 200-75	—	—	—	—	—
88. 200-75	—	—	—	—	—
89. 200-75	—	—	—	—	—
90. 200-75	—	—	—	—	—
91. 200-75	—	—	—	—	—
92. 200-75	—	—	—	—	—
93. 200-75	—	—	—	—	—
94. 200-75	—	—	—	—	—
95. 200-75	—	—	—	—	—
96. 200-75	—	—	—	—	—
97. 200-75	—	—	—	—	—
98. 200-75	—	—	—	—	—
99. 200-75	—	—	—	—	—
100. 200-75	—	—	—	—	—

排水 通氣系統圖 $S=5000$



總
合
內
圖

828.9.19日提出

新設久松寺地所

石井政信一提出

828.9.28日提出

新設地所

○新設久松寺地所

○新設久松寺地所

新設地所

石井政信

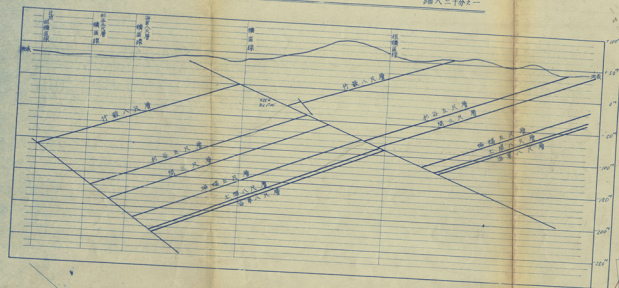
石井政信

石井政信

$\frac{1}{3000}$

C-D 截断面圖

編尺三千卷之一



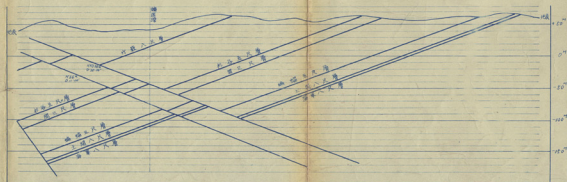
共同石炭鉱業株式會社 日吉 業所

坑內圖

縮尺三千分、一

A-B 截断面圖

縮尺三千分之一

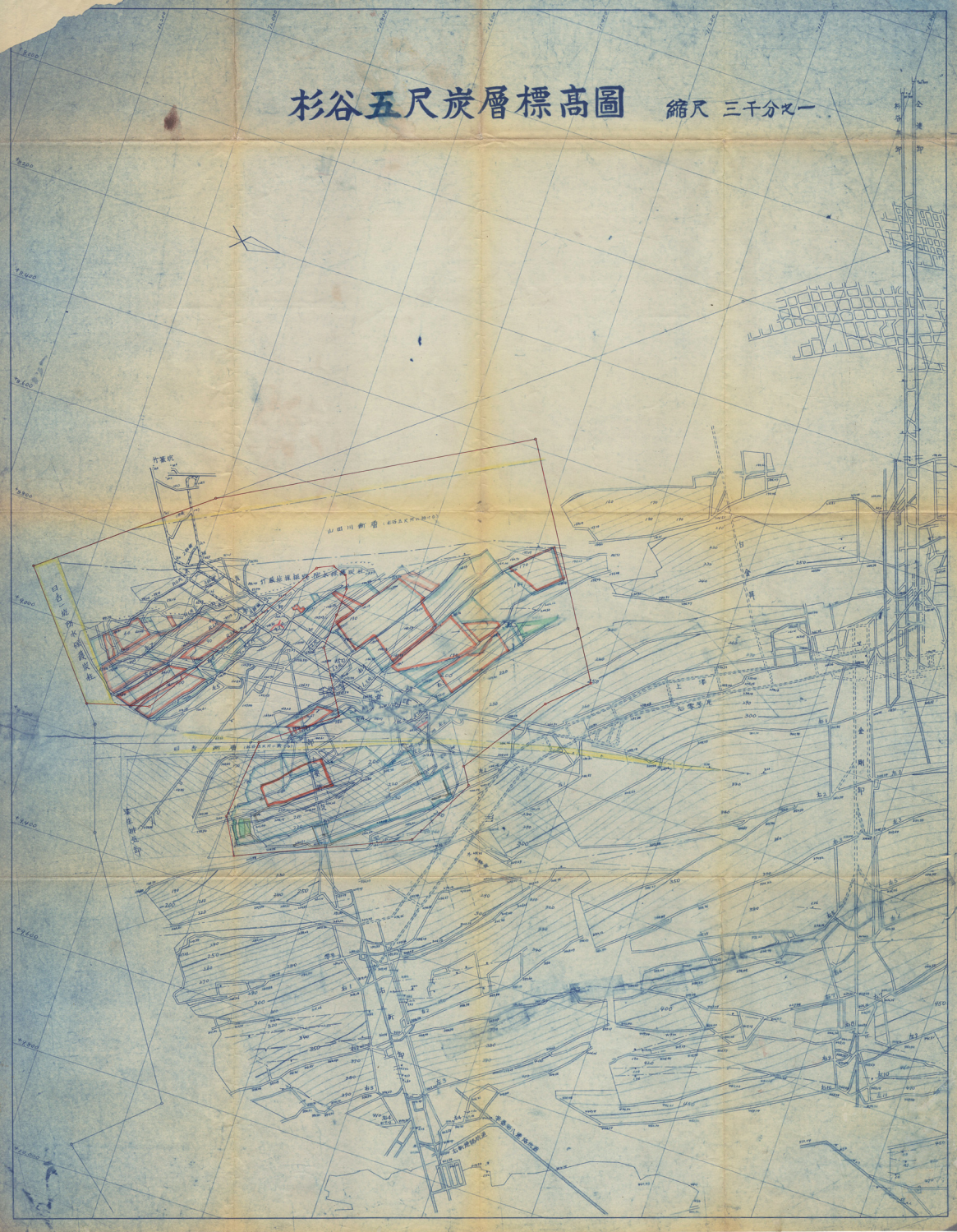
[illegible]

35-6

杉谷五尺炭

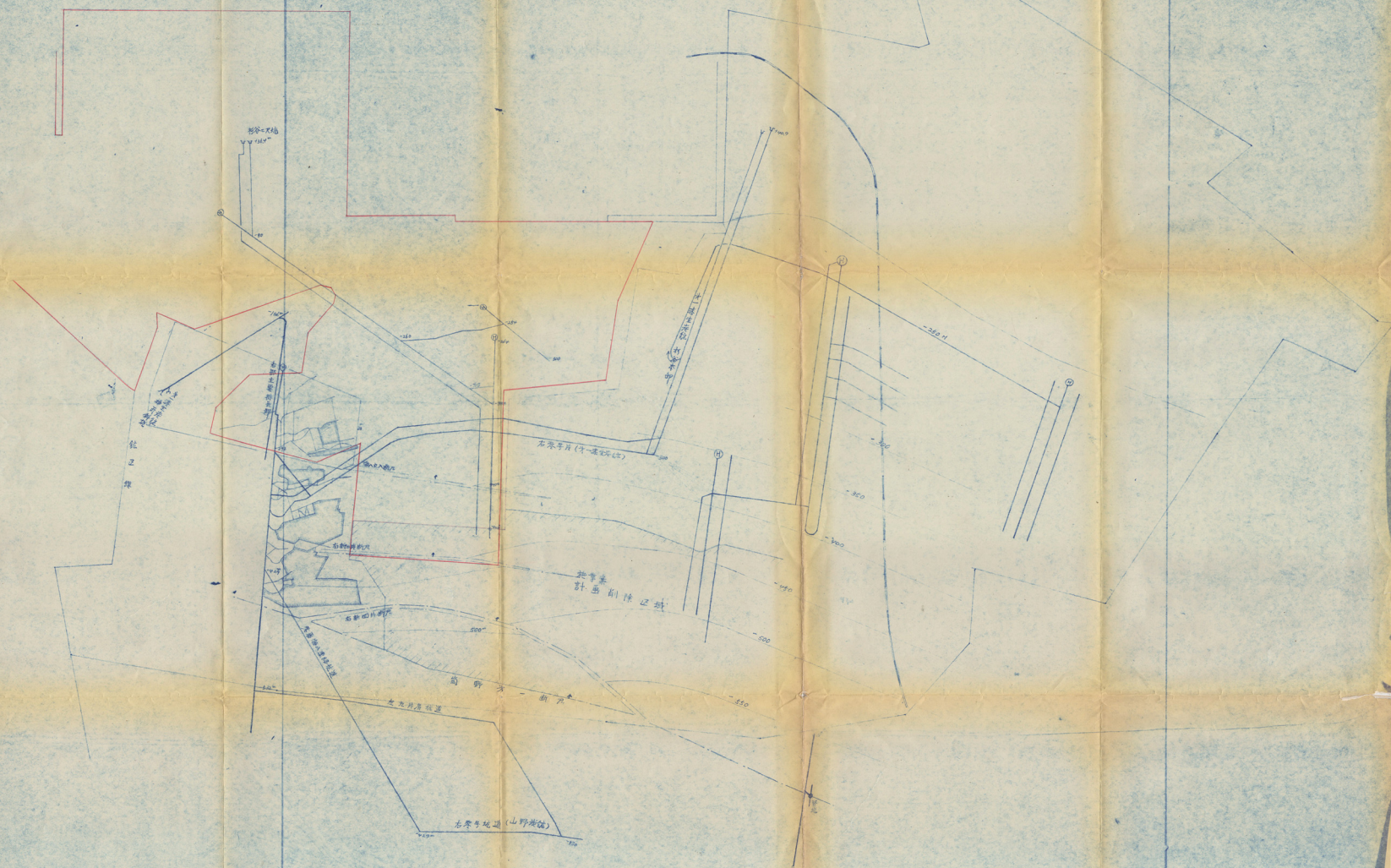
杉谷五尺炭層標高圖

縮尺 三千分之一



博
學
記

S 1
5000



昭和五二年三月五日

福岡商船局局長

賜 返

謹 啓

北九州市中央区本町一丁目7番10号

福岡商船 共同石炭販売株式会社

代表取締役 入 矢 大 兵 衛

福岡県嘉穂郡福岡市大字才田224番

代 理 人 吉 川 茂



瀬田地区について略調査報告書

当共同石炭販売株式会社、日曹航路株式会社、大正11年開航以来今日まで50年近く採炭を営んでいます。

この太い隆興歴史の中で、歴史を以て野添の如く鉱区関係（現状は自鉱区の外に瀬田地区と瀬田地区の混合、瀬田地区の多数化）生産状況（月産15,000トン）および状況（採炭の主力が瀬田地区内である。即ち全産出の70%の10,500トン/月が瀬田地区内出炭）並に将来計画（石炭政策に基く長期安定採炭の確立）より判断して、現状の鉱区形態では問題があり、又同局よりの行政指導もあり、今般状況の瀬田地区を瀬田地区6条による瀬田地区出炭の瀬田地区に併合へ、鉱区の簡併一元化を図り鉱区の基盤である瀬田地区を完全に安固させ、その上に立脚した長期安定採炭の確立を要するものであります。

上述の瀬田地区による瀬田地区へ併合へする為には、その前段の手続きとして（権利関係になる為）

1. 現存の瀬田地区区域の減区（今般の瀬田地区諸関係区域との重複する部分）出炭の登録を為すこと。

2. 現存の瀬田地区（瀬田地区）の登録登録申請を為すこと。
以上の手続きを完了し、瀬田地区区域を一切自給とした後でなければ、瀬田地区の出炭は不可能であります。
然し乍ら以上の地区出炭を通常の如き、順序にて減出しますと瀬田地区および瀬田地区諸関係区域に瀬田地区の出炭をしても許可登録までは相当の期間（約月に於ける各都、各県諸関係機関）を必要とします。従つてその間の空白期間は該区域は当社の瀬田地区となり、それが為、その間は当社日曹航路の業務を停止しなければならない事になります。かような非常事態になりますので、今般の瀬田地区出炭は本質的には、鉱区、瀬田地区の形態をそのまま維持維持するものであり、瀬田地区の近き法的な手続を上記の順にて、かような問題が出来ますので、このへんの事情を御覧下さいまして、瀬田地区出炭の事務進捗を御覧し且つ昭和52年度瀬田地区諸関係区域の瀬田地区の諸関係に間に合いますよう事務進捗も御覧の計されます可成り限りの範囲内で決定をお願いして、又該区域及び瀬田地区諸関係区域に瀬田地区出炭の許可登録を得て、当社の瀬田地区の空白期間をなくし又瀬田地区の安固を計りたい所存でありますので、何等特異の御取計を以て早急の御審査下さいますようお願い致します。

製造増設出動についての事記要表取調表

当共興石炭炭礦株式会社、日吉炭礦所は筑後県田の南部新築地区にあり、管轄上山田郡沿いの山田市および基橋町(旧大塚町)境界の日吉村附近を中心として、大正11年当初狭小な地区(採炭第178号)を採炭区域として、一、二坑を掘削し小規模採掘を開始し、尙ほ以今年まで30年近く経営を存続しています。

この製造増設経緯のため、昭和34年4月(当初は昭和10年より)採掘の当時の日談炭礦株式会社(現製造増設)に地区分譲(炭業法第4条による製造増設の採掘権分譲(竹谷炭群、本炭群の全部))を受け、製造地区は現在の竹谷炭、杉谷二尺坑、御人坑の三坑口を掘削し、之に平行して昭和33年7月より昭和30年8月までの間に4回に亘り製造増設の当時の三井炭山株式会社山野炭礦所(現在株式会社山野炭礦所、第一製造増設)に最上層の竹谷炭群の竹谷八尺層(上山、本層)を製造増設による譲渡の分譲を受け、これに伴い事業場を拡大し製造増設の中心を従来の大塚日吉地区より現在の製造増設可田地に移行しました。

前後製造増設を語る共に地区対策として前記三井山野炭礦所に製造増設炭層の竹谷炭群の下層にある本炭群の地区分譲(製造増設)をお願いしたるも採掘量の社内事情により採掘権にて設定することとなり下郭の通り道改修工事を促進し(採掘権付田舎側)今日に及んでいる。

昭和33年11月に製造増設414号、昭和35年11月に614号と同一区域に製造増設487号(杉谷上二尺層の一層のみ追加建設)昭和38年1月に製造増設734号、昭和40年3

月に製造増設735号、昭和42年7月に製造増設773号の3地区を建設しています。

区 号	製造増設名	区 域 アール	取 得 年月日	製造増設 年月日	備 考
製造増設	竹谷炭群 竹谷八尺層 上山 本層	4777	昭和33年 8月23日	昭和35年 11月22日	
製造増設	本 層 群 上層炭層 新し杉谷上二尺 層を併く 下層炭層	6244	昭和33年 11月22日	昭和35年 11月22日	製造増設 不可能
製造増設	本 層 群 杉谷上二尺層	8344	昭和33年 11月22日	昭和35年 11月22日	全 上
製造増設	本 層 群 下層炭層	2455	昭和33年 11月22日	昭和35年 11月22日	5427.25
製造増設	本 層 群 上層炭層 下層炭層	3120	昭和33年 11月22日	昭和35年 11月22日	5427.75
製造増設	本 層 群 上層炭層	226	昭和33年 11月22日	昭和35年 11月22日	

上記の組織区域の履行状況は当該の主力坑口である竹藪坑および杉谷二尺坑にして同坑歩坑口は当社の所有の採掘部、27号の鉱区内にあるが、その採掘対象区域はその殆んどは租鉱権設定区域内である。

坑口等に採掘権を述べると竹藪坑は昭和7年2月開坑し、開坑当初は竹谷郡群の竹藪八尺層（上層、本層）を採掘履行状層として採掘を開始し、爾後前述の如く並次に近き新田の三井山野鉱区の全層の採掘権分譲（御前地区）を受け本層及御前区域の主要採掘区域は殆んど終了し、左部へ採掘を移行し御前中であつたが、昭和33年11月上述の如く御前地区附近（御前区域御前層）に竹藪八尺層の下層（約70m）に賦存する本層群全層（上御前層、下御前層、杉谷層）に至り租鉱権を設けました、之が為租鉱権地区の採掘を先行すべく計画を変更し、本層群の上御前層（杉谷上二尺層、杉谷下二尺層、杉谷本層、御三尺層）は竹藪坑より、下御前層（御前五尺層、下二尺層、土間八尺層、海軍八尺層）は杉谷二尺坑（当時杉谷採掘部）それぞれ山田川開掘（標上り距離約55m）を掘削し、下層の御前層採掘へと切替えた。

即ち竹藪坑は竹藪層より杉谷層（層間約70m）へ、杉谷二尺坑は杉谷層より土間層（層間約70m）へと途中山田川開掘途中により履行状層が中途に異なり、その影響にて現在の採掘に支やんでいる。

竹藪坑は杉谷郡区域有量5,000t/月（杉谷層炭層式採掘）新田区域4,000t/月（竹藪層炭層式採掘）合計9,000t/月

月出炭計画を遂行中である。杉谷郡区域は現在右部の最上部の杉谷上二尺層杉谷下二尺層を前述式炭層式により採掘中にして、今後左部二尺層を数回、全層を採掘し、該炭層終了後

は御三尺層採掘に切替え御前部より御前部へと後述式採掘に移行し採掘を実施する予定である。

杉谷二尺坑は昭和25年1月開坑し当初は山田川開掘層部の自鉱区内に保有する本層群の上御前層である杉谷層（杉谷上二尺層、杉谷二尺層）の有償採掘を主として履行したが、該区域の主要部分の炭層に伴い山田川開掘の炭部の租鉱権区域を前述の如く山田川開掘層部を利用し従来の杉谷層より本層群の下層炭層である土間八尺層の御石炭層へ切替へ移行し、現在該炭の主力坑口として御石6,500t/月の出炭計画を遂行中である、現在第一御前地区の炭部の土間八尺層を御前炭層中にして、その採掘方法は御石炭層に類似した、并向炭往炭（通称ボット採掘）を実施している。

御前中は3-6mで御前の炭層炭層を採掘し炭層する。土間八尺層の採掘が終了すれば保有の本層及び御前層を利用し御前より御前部へ並次に後述式に御前五尺層、海軍八尺層の採掘を実施し土間炭層へ炭層を移行する計画である。

当社日吉炭坑の出炭実績および計画並びに土間の御前の主力坑口で炭層の出炭は下表の通りである。

地区	名称	实 收					计 划			
		37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年	45年
班 别	私立大成	(2,264) 42,264	(5,290) 62,902	(8,049) 68,055	(12,070) 82,927	(16,071) 74,748	(4,000) 28,000	(6,000) 28,000	(6,000) 28,000	(6,000) 28,000
	竹炭烧	(4,108) 48,653	(3,090) 48,429	(3,852) 43,825	(5,408) 42,050	(9,420) 55,975	(3,000) 40,000	(5,000) 45,000	(5,000) 45,000	(5,000) 45,000
	计	(2,2742) 92,922	(5,880) 111,331	(11,901) 111,880	(17,478) 124,977	(25,491) 130,723	(7,000) 68,000	(11,000) 73,000	(11,000) 73,000	(11,000) 73,000
目 别	二 坑	(191) 1,693	(304) 4,129	(1,444) 12,293	(1,440) 12,293	(1,206) 12,207	(3,000) 36,000	(3,000) 36,000	(3,000) 36,000	(3,000) 36,000
	一 坑	(1,651) 19,815	(878) 10,548	(2,85) 3,925	(6,051) 4,797	(507) 6,157	(500) 6,000			
	海八坑	(1,249) 16,169	(1,182) 14,802	(300) 4,902	(618) 26,440	(400) 5,807				
	大八坑	(1,023) 12,263	(960) 11,515	(1,444) 22,844	(1,440) 20,255	(1,206) 18,825				
	计	(6,161) 49,940	(6,264) 62,902	(6,228) 33,965	(9,758) 56,114	(8,873) 40,000	(3,000) 36,000	(3,000) 36,000	(3,000) 36,000	(3,000) 36,000
合 计		(11,863) 142,862	(14,944) 158,236	(18,729) 183,845	(28,928) 188,149	(35,694) 196,949	(10,000) 136,000	(15,000) 151,000	(15,000) 151,000	(15,000) 151,000
炭内 雜 費	有 煙	(8,056) 92,040	(7,446) 94,753	(7,240) 84,094	(8,026) 94,912	(5,359) 64,540	(8,500) 102,000	(8,500) 102,000	(8,500) 102,000	(8,500) 102,000
	烟 石	(3,607) 42,822	(5,798) 68,923	(16,489) 34,184	(2,096) 38,147	(2,835) 39,239	(1,500) 28,000	(1,500) 28,000	(1,500) 28,000	(1,500) 28,000

註 () 内 7 月 以前 未 决



以上開述の如く、当社日吉炭鉱の永い採炭の歴史の中で御釜地区及び粗飯地区の設定をなし、鉱区が幅延していると共に粗飯地区は期間に限定あり、又当鉱の生産はその約70%は粗飯地区域であり、又粗飯区内のお谷二尺地区域には地層五尺層及び海軍八尺層の備石炭層地山として賦存し、又竹藪地区域には奇形砂岩層の御釜層があり又岡三尺層が地山として賦存している。かように粗飯地区域には未採行炭層が多量に賦存し、炭石隠没を利用し、容易に採掘可能であり、且従来の採炭設備を充分に発揮し、長期安定採炭の確立を図り、従業員700名生活の基を確保し、その中に与れた労使の協力と技術を生かす場を存続させる中に、石炭エネルギー確保の為に努力し、国民人としての生活の場を創かいたせぬ事のみならず、地域社会と一体となつて、金銭存続の意識と価値を見出し、安定的な生産体制確保の為、鉱山の基礎である鉱区開発と完全確立を図る為、本申請を提出する次第でありますので、特別の御賛同を以て御査査許可下さるよう、お願い申し上げます。

防部

清江浦



42.3.12.4

海軍八尺層
土間八尺層
蟬蝠五尺層

坑內圖

續又三十一

螭五尺層
 土間八尺層
 海軍八尺層

土間八尺層
海軍八尺層



上海古籍出版社



74.3.18.47

杉谷層
間三尺層

坑內圖

縮尺三十分之一

谷戸 杉間 三尺 坑内圖 縮尺三千分の一

[illegible]

						<	<	儿
新	航	湖	机	机	机	祖	猛	例
万	通	三	合	合	合	铁	正	
橡	保	尺	天	天	天	正	橡	
	安	样	样	样	样	橡		
	装	板	板	板	板			
	柱	路	路	路	路			

(土間八尺層)

杉谷二尺坑

坑内図

縮尺三千分の一

縮尺 三千分之一

坑口別 操業狀況表

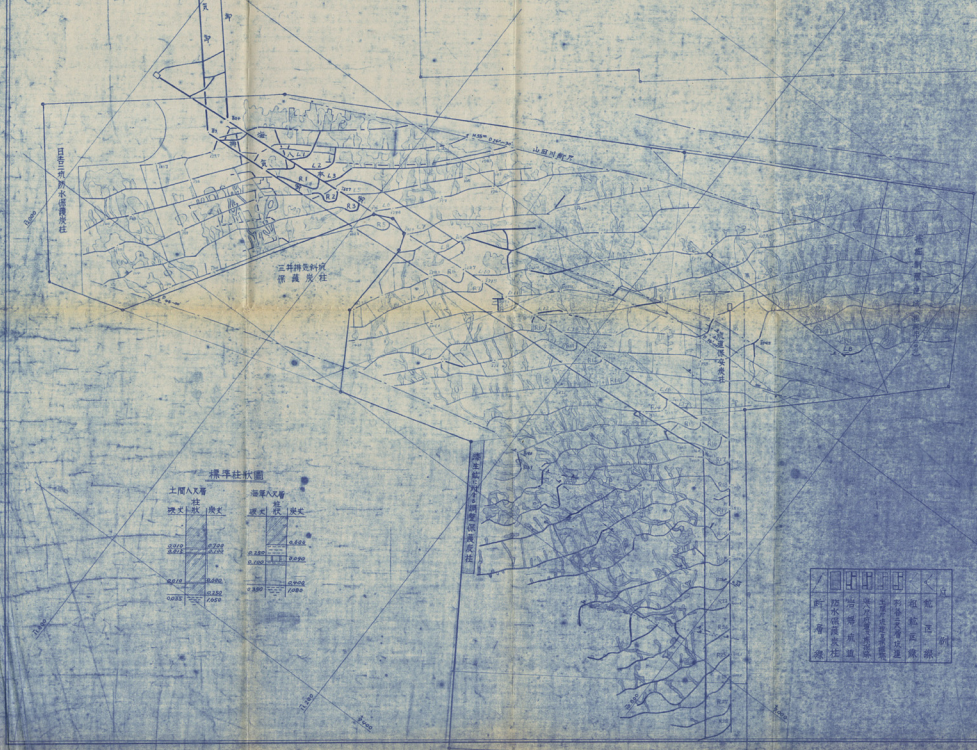
日吉炭銃

[illegible]

昭和 年 月未現在。 杉谷二又城

杉谷二尺坑(土間海軍八尺層) 採掘現況圖

縮尺 參千分之壹



說明資料

關係圖

先飲提
地內日
地外日
飲內日
飲外日
飲己日
飲己日

竹竿
上
下
(石)



福岡県嘉穂郡稲築町大字才田本谷二二六ノ一

(稲築局区内)

共同石炭

鉱業株式会社

日吉鉱業所

電話

稲築四三〇番
大隈一一番

昭和
年
月
日